

1. 件 名：「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の認可申請に係るヒアリング（33）」

2. 日 時：令和4年4月28日（木）13時30分～14時30分

3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

審査グループ 核燃料施設審査部門

長谷川安全規制管理官、石井企画調査官、中野上席安全審査官、

羽場崎主任安全審査官、野村主任安全審査官、尾崎安全審査専門職

リサイクル燃料貯蔵株式会社

東京事務所長兼キャスク設計製造部長 他1名

5. 要旨

(1) 原子力規制庁から、リサイクル燃料貯蔵株式会社（以下「RFS」という。）の設計及び工事の計画の認可申請書のうち、金属キャスク及び貯蔵架台の耐震設計及び耐津波設計の内容について確認を行い、RFS から以下のとおり説明があった。

- ・耐震評価における解析モデルについて、金属キャスクと貯蔵架台を組み合わせた連成モデルを用いている。
- ・金属キャスクの下部トラニオンの耐震評価について、水平2方向の地震力のうち大きい方の地震力を一つのトラニオンが負担するとしている。
- ・金属キャスクの津波影響評価における仮想的大規模津波の水流による荷重について、金属キャスクと貯蔵架台の高さ方向に等分布荷重が加わる条件としている。

(2) RFS から、本日説明した内容については、補足説明資料にて提出する旨の発言があった。

6. 配布資料

なし